

2023年5月16日

最近の長野県経済の動向 (月例調査)

2023年2月、3月の経済データを基に、長野県内の景況を把握したものです。

概要

全国景気※	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している
長野県内景気	持ち直しの動きに弱さがみられる
2月の生産動向	生産は足踏みがみられる
3月の個人消費	乗用車新車販売は3カ月連続で前年を上回る
3月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を上回る
3月の住宅投資	新設住宅着工戸数は2カ月ぶりに前年を上回る
3月の雇用情勢	有効求人倍率は横ばいで推移
今後は、物価上昇による個人消費への影響を注視する必要がある	

※内閣府「月例経済報告(2023年4月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

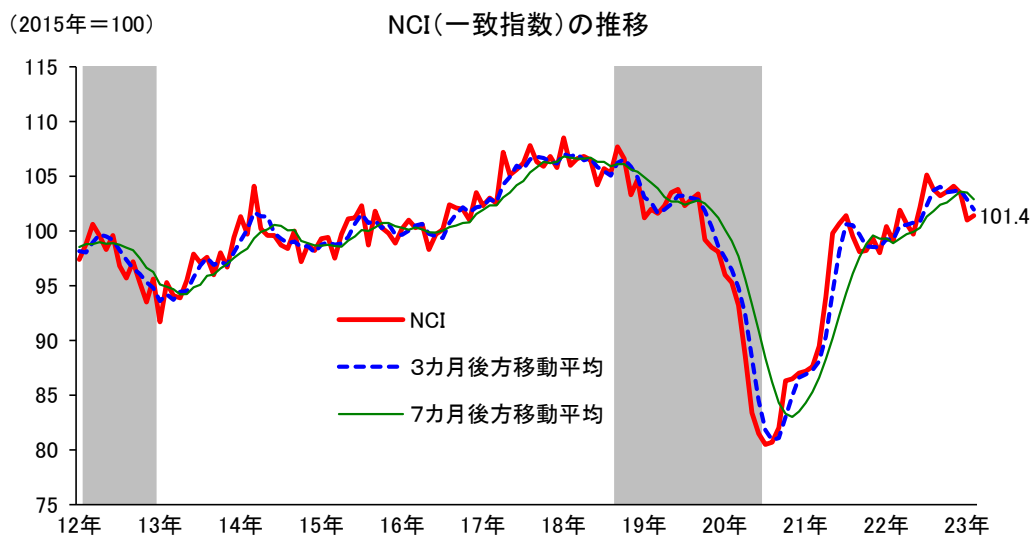
担当 桑井、伊東

電話 026-224-0501

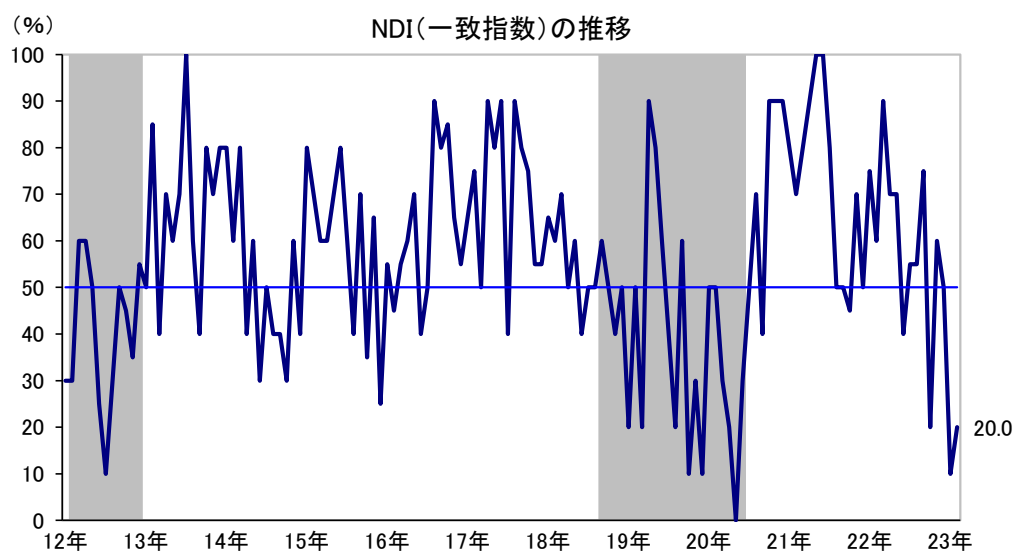


景気動向指数

- ・2月のNCI(一致指数)は、101.4と前月と比較し0.4ポイントとなった。3カ月後方移動平均は同△0.9ポイントと2カ月連続で低下し、7カ月後方移動平均は同△0.6ポイントと2カ月連続で低下した。NCI(一致指数)は、改善を示している。
- ・NDI(一致指数)は、20.0%となり、景気判断の分かれ目である50.0%を2カ月連続で下回った。



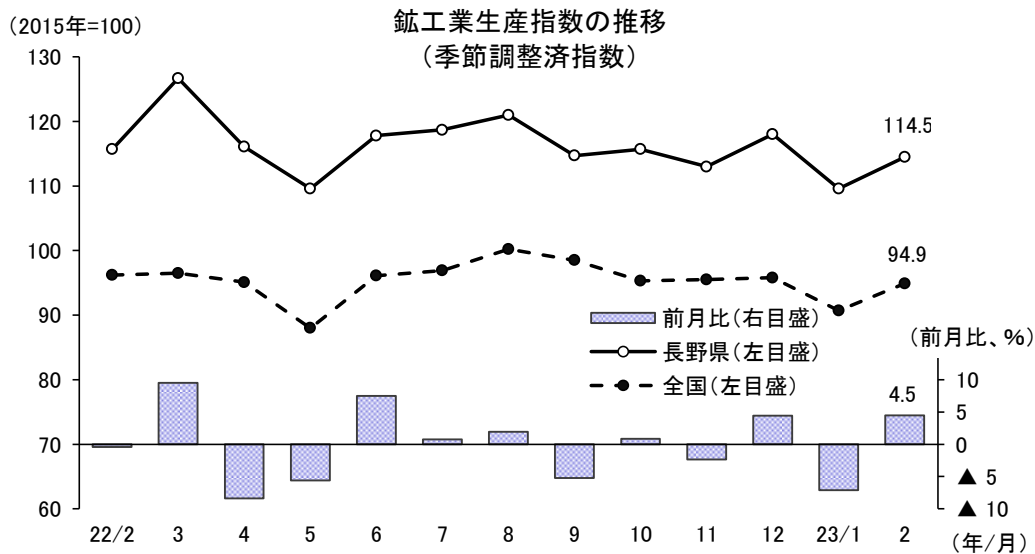
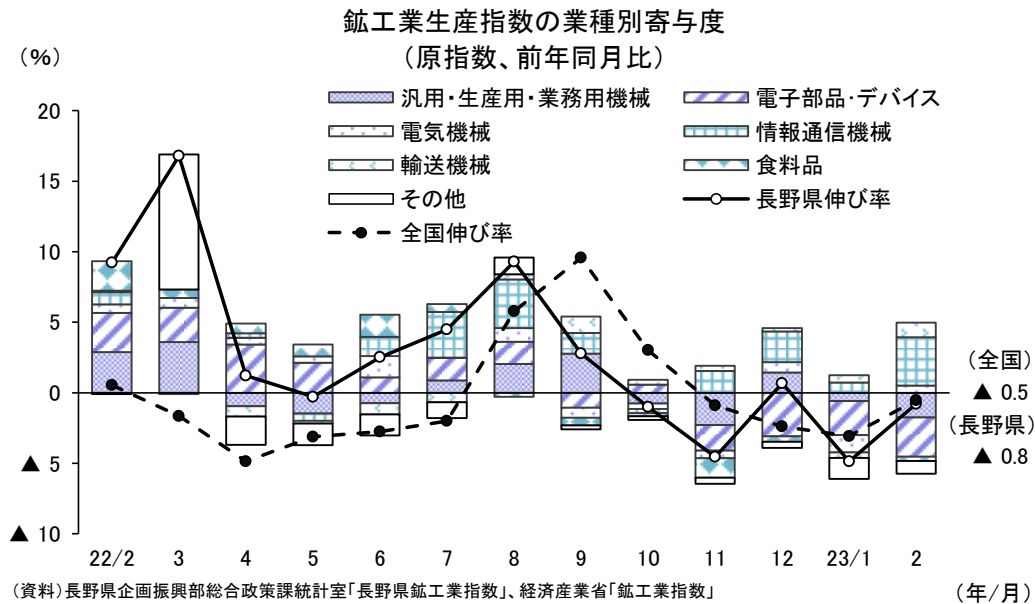
(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」
 注1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す
 注2.シャド一部分は長野県の景気後退期を示す

生産は足踏みがみられる

- ・2月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比 Δ 0.8%、季節調整済指数が前月比+4.5%となった。
- ・原指数は2カ月連続で前年を下回り、季節調整済指数は2カ月ぶりに前月を上回った。内需は堅調に推移しているものの、外需の縮小がみられ、生産は足踏みがみられる。
- ・主要業種別にみると、「情報通信機械」、「電気機械」、「輸送機械」などが前年を上回ったものの、「電子部品・デバイス」、「汎用・生産用・業務用機械」、「食料品」などが前年を下回った。

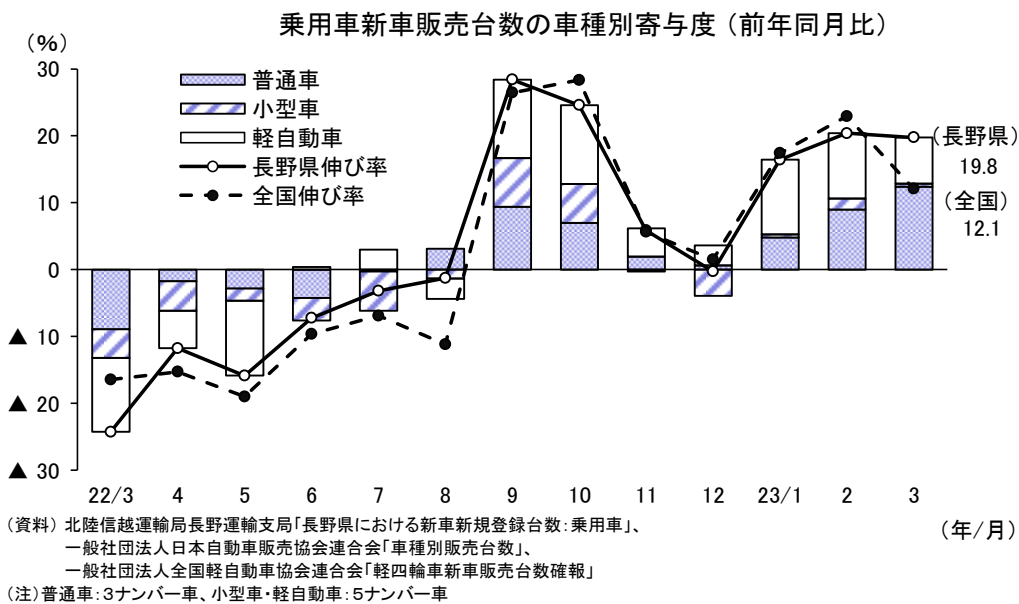
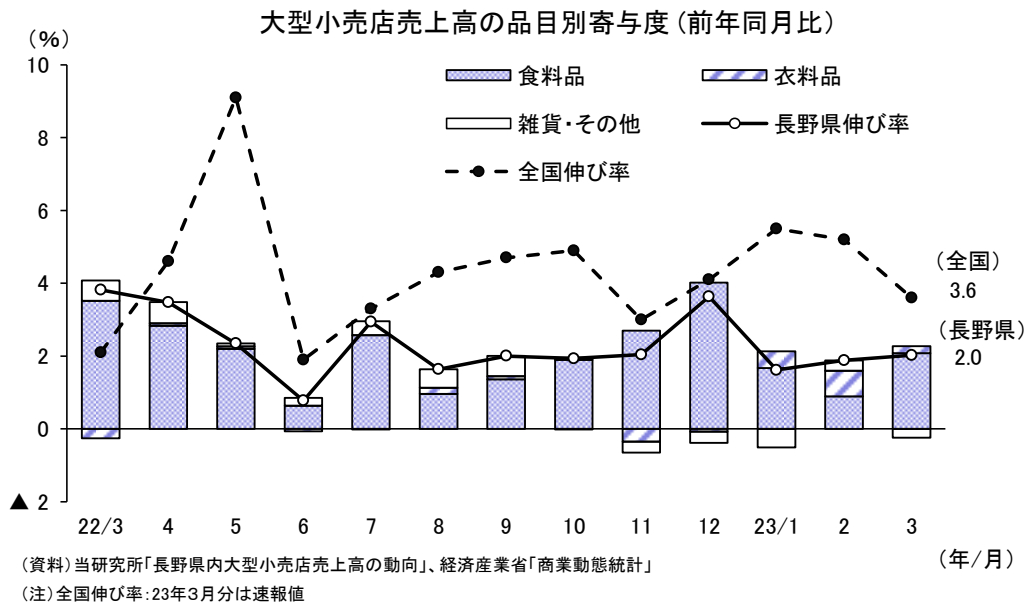


(資料)長野県企画振興部総合政策課統計室「長野県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

個人消費

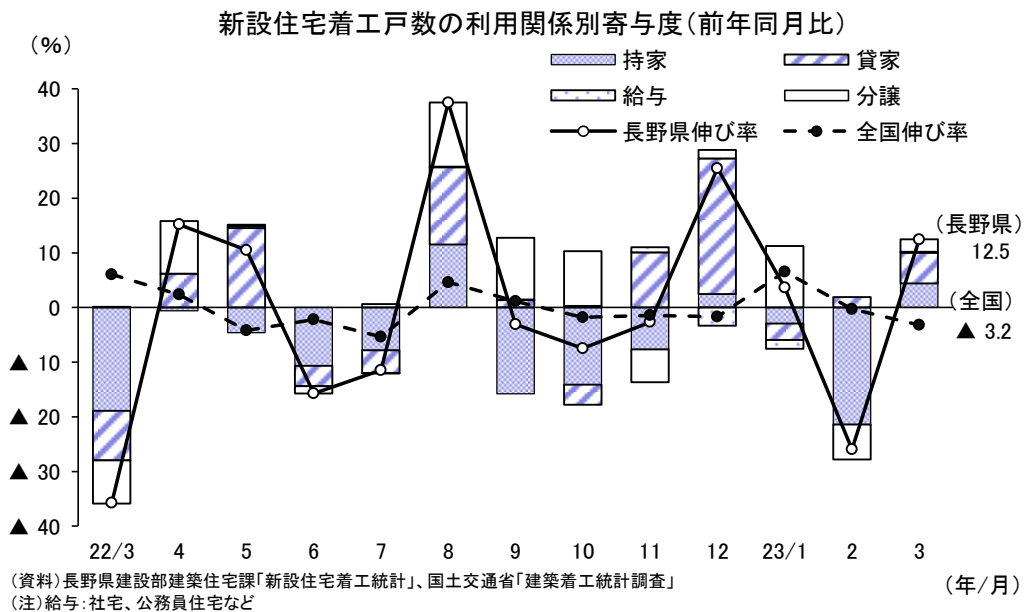
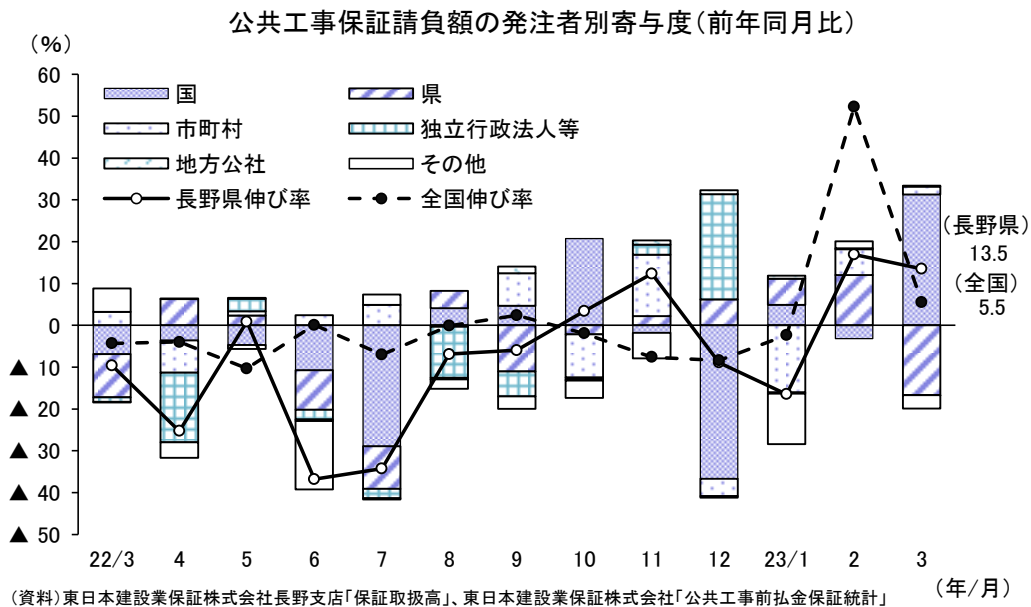
乗用車新車販売は3カ月連続で前年を上回る

- 3月の大型小売店売上高は、前年同月比+2.0%（売場面積調整前）となり、18カ月連続で前年を上回った。食料品は、総菜や飲料などが堅調だったほか販売価格の上昇などもあり、同+2.5%となった。衣料品は、来店客数が増加したほか春物が順調で、同+3.2%となった。雑貨・その他は、日用品などが振るわず、同△2.4%だった。
- 3月の乗用車新車販売は、半導体不足等に伴う納車遅れが徐々に改善し、前年同月比+19.8%と3カ月連続で前年を上回った。軽自動車は同+17.4%と7カ月連続で、普通車は同+37.5%と8カ月連続で、小型車は同+1.6%と3カ月連続で前年を上回った。



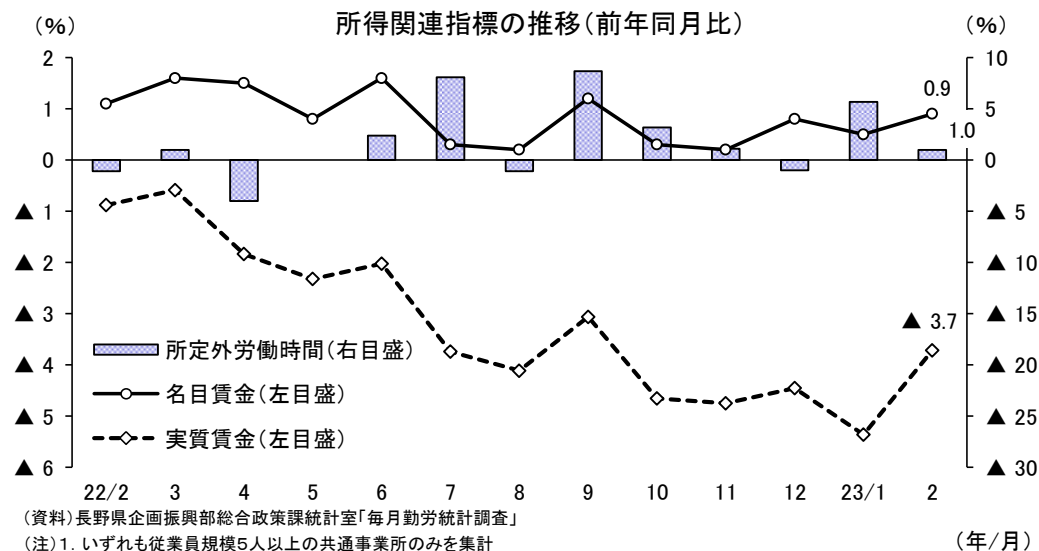
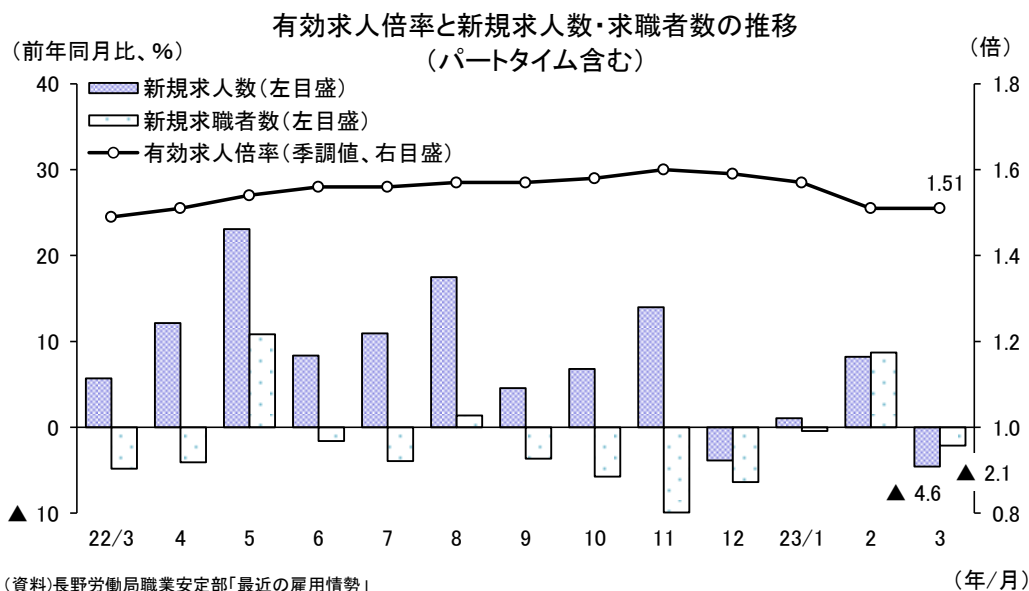
公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を上回る

- 3月の公共工事保証請負額は、前年同月比+13.5%の162億4,300万円となり、2カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、県が同△46.5%、地方公社が同△17.7%、その他が同△34.4%と減少したものの、国が同+103.0%、市町村が同+8.4%、独立行政法人等が同+10.3%と増加した。
- 3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+12.5%の695戸と2カ月ぶりに前年を上回った。利用関係別にみると、持家が同+7.1%、貸家が同+28.9%、分譲が同+12.1%、給与が同+100.0%といずれも増加した。



有効求人倍率は横ばいで推移

- ・3月の有効求人倍率は、前月と変わらず1.51倍となった。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△4.6%となり、3カ月ぶりに前年を下回った。このうち常用は同△2.7%、パートは同△2.7%となった。主要産業別では、宿泊業・飲食サービス業が同+7.6%、建設業が同+3.7%、医療・福祉が同+2.1%などと前年を上回ったが、製造業が同△19.9%、卸売業・小売業が同△6.2%などと前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比△2.1%と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・2月の名目賃金は前年同月比+0.9%と22カ月連続で前年を上回ったが、実質賃金は同△3.7%と14カ月連続で前年を下回った。所定外労働時間は同+1.0%と、2カ月連続で前年を上回った。



県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

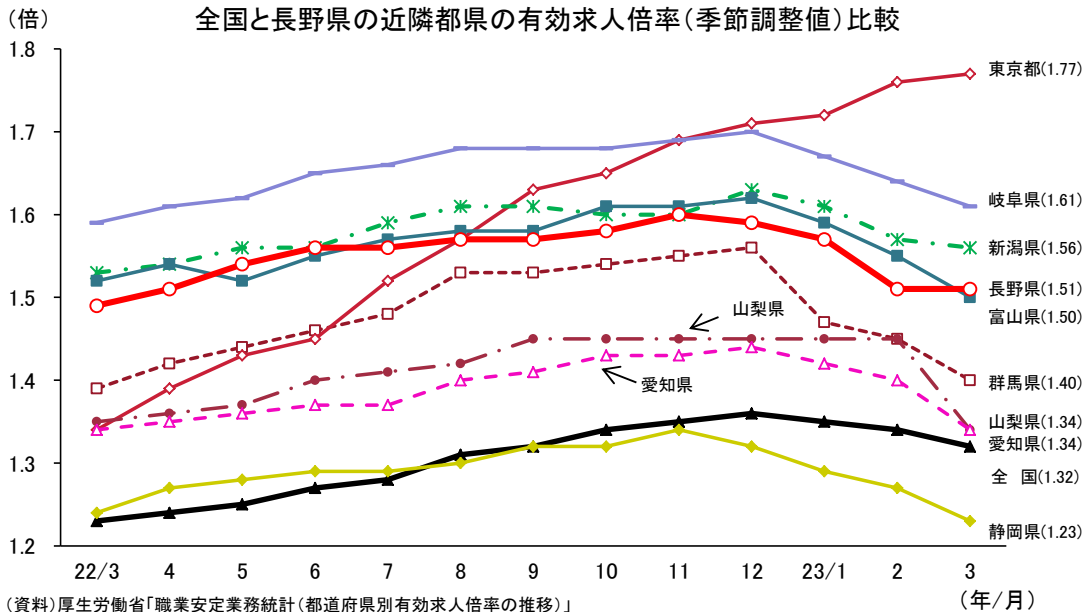
有効求人倍率は30カ月連続で全国を上回る

- ・3月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.04ポイントの1.39倍、東信が同△0.05ポイントの1.51倍、中信が同+0.13ポイントの1.61倍、南信が同+0.02ポイントの1.53倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、松本が1.65倍と最も高く、次いで飯田が1.63倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は30カ月連続で全国を上回り、順位は前月より4つ上げ9位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(23年3月)

地域	北 信(1.39) (前年同月比▲0.04)				東 信(1.51) (前年同月比▲0.05)		中 信(1.61) (前年同月比0.13)			南 信(1.53) (前年同月比0.02)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.42	1.26	1.56	1.39	1.49	1.52	1.65	1.53	1.31	1.63	1.53	1.47
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.01	▲ 0.23	0.18	0.00	0.02	▲ 0.13	0.15	▲ 0.11	0.06	0.25	▲ 0.01	▲ 0.11
うち常用	1.25	1.24	1.46	1.30	1.36	1.48	1.38	1.40	1.25	1.56	1.34	1.39
前年同月比 (ポイント)	0.02	▲ 0.16	0.14	0.02	0.06	▲ 0.11	0.15	▲ 0.06	0.07	0.26	0.01	▲ 0.08

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」
(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値



(資料)厚生労働省「職業安定業務統計(都道府県別有効求人倍率の推移)」
(注)1. 新規学卒を除きパートタイムを含む
2. 長野県の近隣都県及び、経済規模、産業構造が類似している県